

海浜

海に面している明和町には約 7.5kmの海岸線があります。下御糸の沿岸部は櫛田川の堆積、大淀の沿岸部は宮川の堆積により形成されています。明和町の土の色は場所によって大きく変わります。斎宮地区の台地の畑を見てみると黒くやわらかな土ですが、海岸平野になると海辺から離れている場所でも砂地になっています。これは昔の海岸線が今より内陸にあり、時間を経て今の海岸線まで進んだ名残なのです。

明和町の海はとても自然豊かな環境が残されています。アカウミガメの産卵場所になるほか、海岸で暮らす生き物や植物がみられます。



大淀海岸
日本遺産構成文化財



キーワード：海岸平野、砂碓、日本遺産